

つくば市民白書 2012 実行委員会 第 8 回会合まとめ

日時：2011 年 2 月 27 日(日)9:30-12:15

場所：春日公民館、会議室 1

出席者：河村、山本、矢澤、酒井、横井、野口、寺門、原田

議題：

- (1) 報告（経過、つくば市行財政に関する報告）
- (2) 協議
- (3) その他

(1) 報告

①経過報告

前回 1 月 31 日第 6 回実行委員会の後、2 月 7 日に原田、横井、矢澤がつくば市役所企画経営課を訪問してつくば市の総合計画について質問し、文書の提供を求めた。後日実費配布ということで横井が 3600 円で購入した。

②つくば市行財政に関する報告(酒井)

2010 年 11 月 20, 21 日につくば田園居住シンポジウムを開催したが、つくば市からの報告について 2 点の問題を感じた。

1. 発表原稿作成をコンサルタントに頼って表面的な報告に終始し、問題点を明らかにしなかった。
2. つくば市は「統治と管理」の発想のみで「経営とサービス」の感覚がないことが明らかになった。TX 沿線開発の道路、上下水道、学校など公共施設の建設で今後巨額な請求が来ることが予想されるが、対応を考えていない。先行投資を行って人口増加を計り、税収で返済するなど経営的発想が必要である。

質疑で、経営の発想は重要だが、企業経営的なやり方では弱者切り捨てになりかねないので表現を工夫する必要がある、との意見があった。

③教育に関する項目について(寺門)

養護学校：調査を行った結果をまとめる。

保育園：まつぼっくり保育園園長に頼む。

高校：上郷高校廃止について書けそう。

小中学校：執筆者が見つからない。矢澤が知り合いに当たってみる。

④第 3 次つくば市総合計画・後期基本計画の購入

横井が購入(3600 円)した。横井が管理している 2008 年版白書売上げ会計より出す。(後日、2012 年版会計にまとめる。)

(2) 協議

①編集委員会構成の検討

今回は編集作業と体制について議論し次のような意見が出た。次回整理する。

1. 2008 年版と同様、編集チームを作り、編集実務を担当する。
2. 2008 年版よりもう一步前進させる必要がある。質を高める。
2. 編集方針、目的など実行委員会で確認する。
3. 執筆依頼時に、執筆者が内容に関する責任を負うことを確認する。
編集者は執筆者の意図を出来るだけ尊重する。
4. 実行委員会メンバーを増やす必要がある。
5. 公開の勉強会を開催する。つくば市の担当者にも来てもらう。

6. 2008年版は発行後、茨大の先生にレビューをしてもらった。今回も考えるとよい。

②勉強会

4つの重要項目（TX 沿線開発とつくば市の財政(亀山)、つくば環境スタイルと低炭素社会作り(矢澤)、つくば市の教育(寺門)、地域コミュニティ問題(野口)) について4月以降勉強会を開催する。各担当者が企画案を作成し、次回検討する。

(3) その他

①3月17日(木)16:00 市民活動センターで松ぼっくり保育園の園長の話聞く機会がある。

(4) 次回

3月26日(土)13:30-15:30 市民活動センター会議室

- ・編集方針、編集委員会の組織、校正目次原案を確定する。
- ・勉強会の企画案を持ち寄り検討する。
- ・実行委員会拡大について検討する。

(以上)